

# 地域安全マップの作り方

## ステップ1 グループを作ってみよう！

- お友達とグループを作ろう。
- 低学年の子は、お父さんやお母さんといっしょに作ろう。
- リーダー、サブリーダー、地図係、写真係、インタビュー係などの役割分担を決めよう。

## ステップ2 「危険な場所」と「安全な場所」を考えよう！

- ポイント1 「危険な場所」： 事件や事故などが起きそうなところ
- ※ 詳しくは「地域安全マップづくりのポイント」を見てね。
- (例) 放置自転車や路上駐車が多いところ  
木が生い茂っていて周りから見えにくい公園  
落書きがあるところ  
高い塀が続いていて、ガードレール等が無い道路  
ゴミがたくさん捨てられていて、  
人が近づきたがらない場所

カンガルーマーク  
が目印だよ！

子どもを守る  
110番の家



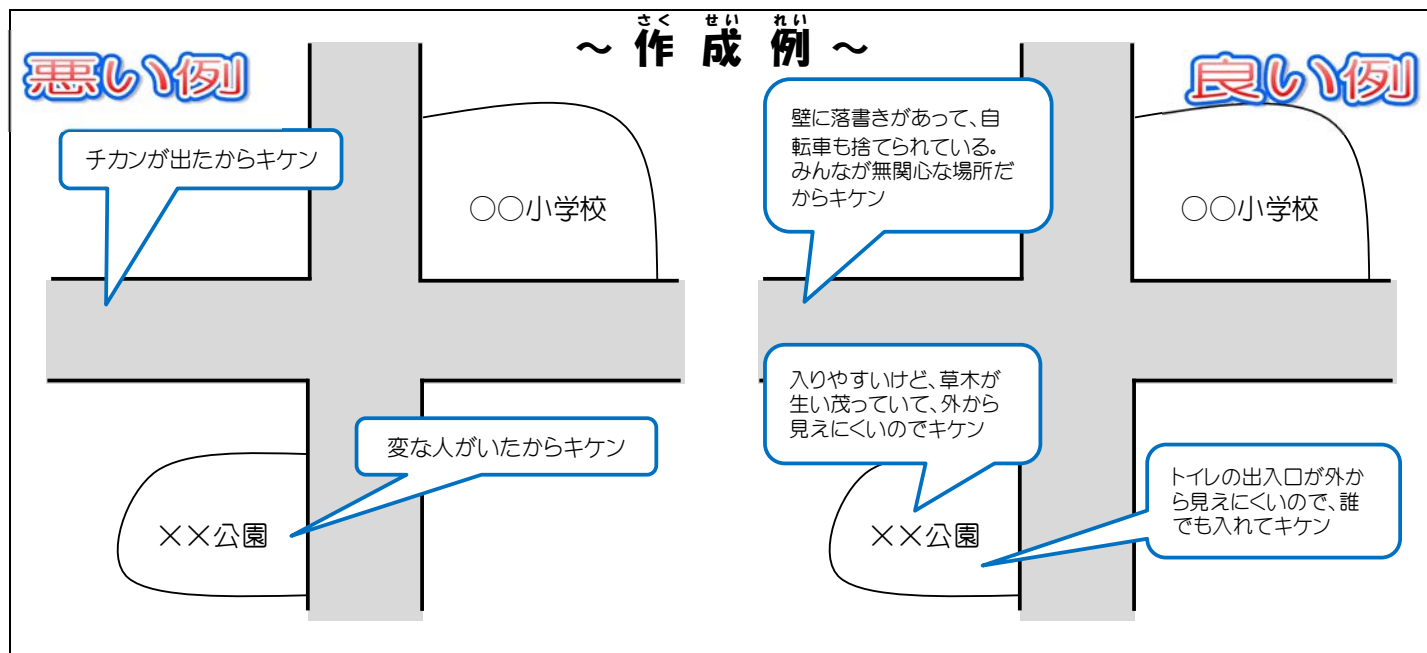
- ポイント2 「安全な場所」： 何かあったら助けを求めることができる（逃げ込める）ところ
- (例) 子どもを守る110番の家や店（コンビニ、ガソリンスタンドなど）  
学校、塾、警察署（交番・駐在所）

## ステップ3 グループで街を歩いてみよう！

- ポイント1 グループ内で、歩く範囲を決めよう。
- ※ いつも歩いている「通学路」やお友達と遊んでいる「公園」などを中心に考えてみよう。
- ポイント2 必ず、お父さんやお母さん、お友達といっしょに歩いてね。
- ポイント3 「危険な場所」と「安全な場所」の写真を撮ろう。
- ※ 朝（通学時間）や夕方（下校時間）の写真を撮って、街の景色を比べてみよう。
- ※ 写真を撮るときは、人の顔や家の中などを無断で撮影しないように注意しよう。
- ポイント4 地域の人にインタビューをするときには、大きな声であいさつをしてから質問しよう。
- ポイント5 「危ないな…」と思ったところをどんどんメモして、その「理由」を考えてみよう。
- ポイント6 「カンガルーマーク」（110番の家・店）を探してみよう。
- ポイント7 夢中になりすぎて、交通事故に遭わないように気をつけてね。

## ステップ4 マップを作ろう！

- ポイント1 実際に歩いた通学路や学校、遊び場、110番の家（店）などを地図に描いてみよう。  
※ ただし、大切なのは「危険な場所」のコメントだから、地図を細かく描く必要はないよ。
- ポイント2 写真を貼ろう。どの写真を貼るか、どうやって貼るか、みんなと話し合っ決めてよう。  
※ 車のナンバープレートや家の表札が入っているような場合はマジックで塗りつぶしてね。
- ポイント3 コメントを書き込もう。ここが一番大事だよ。  
写真を貼った場所がどうして危険なのか、また、どうして安全なのかを考えながら書いてみよう。  
※ 個人名や個人宅を書くのは控えてね。  
※ 不審者が出没した所は、なぜその場所に出没したのかを考えてコメントを書いてみよう。



- ※ 過去に不審者が出没した場所や犯罪が発生した場所だけを書いた「不審者マップ」や「犯罪発生マップ」にならないようにしましょう！
- ※ 交通事故の防止や注意を呼びかけただけの「交通安全マップ」にならないようにしましょう！

## ステップ5 発表会を開いてみよう！

- マップを作成して気づいた「危険な場所」と「安全な場所」について話し合ってみよう。
- 作成してみて、工夫したところや苦労したところを発表してみよう。